

令和7年度UUカレッジ・履修証明プログラム「地域防災モデレーター講座」

令和7年9月2日(金)～令和8年2月27日(金)の期間中に実施されました。受講者の皆様に、講座の感想と今後のご予定やご希望についてお聞きしました。また、担当講師より一言いただきました。

UUカレッジ5期生 藤井 直人さん

防災へのイメージが具体的になり、防災への関心が深まる授業でした。

「地域防災」の講義は、消防団との意見交換などもあり、さまざまな知識をえることができました。

今後は、防災士の資格を学んでみようと思っています。

UUカレッジ6期生 岩澤 幸雄さん

今回の「地域防災モデレーター講座」は、災害や地域防災に関して、「まち歩き」による地域の危険箇所把握と防災マップ作成や「鹿沼消防署・消防団」を訪問して消火・避難・土嚢作り体験等たいへん良い経験をさせて頂きました。また、学生と一緒に地域防災に関する課題や体験学習内容について議論し、まとめ発表することを数多く行うことが出来、今の学生たちの考え方を知る機会が出来たことは大変興味深い事でした。今後も地域の事を考えた「災害・地域防災」について更に学びを進めたいと思っています。

UUカレッジ6期生 若田部 好明さん

自治会活動、自主防災会の一員として少しでも防災の際、役に立ちたいと思い受講しました。

講義の中で阪神淡路大震災では、発生後2カ月過ぎてやっと必要な（衛生用品等）支援物資が届いた状況に驚きました。また、「くしの歯」作戦による主要道路を啓開と言った作業では発生後4-5日で瓦礫を撤去して物流ルートの確保をしたなど衝撃的であり、日本の災害後対応って凄いと改めて実感しました。

学んだことを自主防災組織に活かしたいと思っています。また、更なるレベルアップのために、4月より防災マネジメントⅡ、NPO論を学びたいと考えております。

地域デザイン科学部 土崎 雄祐 先生

様々な角度から、様々な方法で、地域防災を学ぶ講座としました。受講者の皆さんの身近な暮らしや組織における防災の取組が、フェーズフリーで推進されることを願ってやみません。お世話になりました。

UUカレッジ5期生 須藤 日出夫さん

日本国内で暮らすには、日頃より、地震、豪雨・雪、台風など災害が何時発生するかわからない！

UUカレッジの開講時に「防災マネジメントⅠ・Ⅱ」を受講し、2019年10月の東日本台風で、地元の県道が土砂流出による災害で塞がれ、居住地が一時、陸の孤島となったことから、災害に対しどう対処するか？安全な環境づくりが必要であることが教訓となり、地域防災の更なる基礎知識を得るため今回の受講となりました。

初回のガイダンス沿って、国内の多種多様の災害メカニズムに始まり、身近な消防署と消防団とのかわりなど、現地にて体験学習出来たことや「芋煮」の炊き出し実習などは大きな宝となりました。

“災害は、忘れた頃やってくる”という不安を抱えている日常生活。災害後の対応として、復旧・復興への国-都道府県-市町村との連携、災害地域と社会福祉協議会との関連、防災通信システムの時代による変化、2026年5月末からの気象早期注意情報の変更、「キキクル」による大雨や土砂災害に関する発表、河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮で伝えられる警戒・注意報レベル4の情報は「危険警戒」として発信されることなど学びました。

今後、高齢化とともに少子化傾向になることを踏まえ、地域防災活動の担い手やリーダーの人材育成に向け、一人でも多くの人にこれらの情報を知っていただくよう微力ながら手助けをしていきたいです。

UUカレッジ6期生 川俣 桂子さん

久しぶりに学び舎へ通う日々は、毎回ワクワクした気持ちで満ちていました。

学習内容はもちろん、かつてとは大きく変わった学習システムや共に学ぶ学生たちからも多くの刺激を受けました。

今回得た学びや気づきを、これからどのように社会へ還元していくかは今後の大切な課題だと感じています。

仕事と両立しながらの通学は決して容易ではありませんが、勤務先の理解が得られれば、またぜひ受講してみたいと思っています。

UUCollege・Newsletter ～ともまなび特集～



昨年度に続き受講者有志グループによるともまなびSeason 2が、1月26日(月)～2月12日(木)の期間に、UUカレッジコーディネーター・メンターのもと、4回にわたって開催されました。それぞれの回の発表者と、ともまなびの幹事に感想をお聞きました。

UUカレッジ2期生 齋藤 恵子さん×廣瀬先生 対談で語られるナラティブなライフストーリー

人前で、個人的な来し方を語るという、はじめての経験で大変緊張しました。筋道の違ったお話は出来ませんでしたが、私は話しながらまた皆さんの感想、質問を受けることによって、自分の育った環境、親との関係などを思い起こすことができました。今までのつまづき、寄り道、学び、そしてそこでの人との出会いが、まるごと私の中で蓄積されて、現在の自分があると納得しました。そして、背伸びせず今の自分に出来ることをやっていこうと思いました。

今回このような機会を設定して下さった廣瀬先生はじめ、係方々、聴いてくださった方々に感謝します。ありがとうございました。

UUカレッジ5期生 須藤 日出夫さん 育む森林と里＝山林の環境保全と地域振興・地域の活性化＝

1月8日に廣瀬先生から連絡を受け「ともまなび」にて、「UUカレッジ受講生として発表していませんか」と依頼を受け、先生の元気ハツラツとした声にひかれ、「はい分かりました」と一発返事してまいりました。そのあと「ともまなび」の小田川さんより、色々な説明があり、「ヤバイ」えらいこっちゃやと思い、どうしようかな？の日々でしたが、現役の頃思い浮かべ、リアクションしつつ何とか発表出来ましたことに感謝申し上げます。

UUカレッジ受講するにあたり、今まで勉強不足のもの、ごく身近な環境の「森林」と近辺で災害にあつたらどうしようなど「防災」関連などを選び、専門科目の基礎知識・情報・歴史など受講し、地域の環境保全と地域活性化にむけ、密着したラインとなっています。

今回の発表会におきましては、いつも聞く立場から話す立場と一転し、高齢化とともに準備不足もあり、ご参会の皆様には、聞きづらい点多々あったかと思いますがご容赦願います。

「ともまなび」の益々のご活動をお祈り申し上げます。

UUカレッジ4期生 興野 喜宣さん 歌麿に11億円以上の価値のある「雪月花」をかかせた男＝善野伊兵衛旧蔵の石譜について＝

幹事の小田川典子さんから「とも学び」で発表をしてみませんかとの誘いがあり。

丁度自分の資料を活用していただいたた栃木市美術館の企画展「喜多川歌麿と栃木の狂歌」が終わったばかりだったので、その流れで発表しようとかんがえました。

NHKでは鳶屋重三郎が主人公の「べらぼう」が放映され、喜多川歌麿の「深川の雪」がサザビーズのオークションで11億円の値段が付いて浮世絵のなかで最高価格だったこともあり、ちょうどいいと思いました。

私は歌麿のパトロン後援者であった善野伊兵衛が親子2代にわたって、石に関心があり戒名にまで石にちなむ名をつけたことに驚き20年にわたり資料をあつめ調べてきました。

レジュメを配り資料を持参しギャラリートーク形式で行うことができありがたかったです。メンターの先生や聴講していただいた方に感謝です。

UUカレッジ6期生 大島 和枝さん 私のボランティア人生＝出会った“ひと” “こと”

何を「発表」するか、当日まで悩みましたが、結局自分が一番話したいことを話しました。

発表後、ご参加の皆さんと語る時間がなんとも楽しかったです。そのこと自体が私にとって「出会ったひと・こと」となりました。

いい時間を過ごせました。ありがとうございました。

ともまなび幹事

UUカレッジ6期生 小田川 典子さん

スピーカーの皆様の生き方に触れながら座学では得られない多くの学びがありました。こうして横のつながりを深めながら、学び合うことは、今だからこそ必要なことだと思います。

そんな遠くない人生の終着を見据えながら、より豊かに過ごしていけるような気がしました。皆様に感謝！また来年！